

令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（60） 学校名 豊田市立足助小学校

1 テーマ

「地域に学び、かかわり、発信する子どもの育成」
～「みんな大好き！足助の町」の実践を通して～

2 ねらい

- 自分たちの住む地域の自然や人、もの、歴史、文化に触れ、足助のよさを感じ取らせることで、足助地区に根ざし、伝統や文化、自然などを守り育てていく人材を育てる。
- 地域の中で児童が、見たい、知りたい、やってみたいと思う地域素材をピックアップし、地域の人材を活用して、学んだり、体験したりする機会を設定することで、学びを地域へ発信していく力を育てる。

3 活動内容

- 地域の人材や素材から学んだり、かかわったりする活動
 - ・地域の自然を学ぶ
環境学習（5年）、自然学習（1・2年）
 - ・地域の食を学ぶ
手作り味噌を使った五平餅づくり（4年）
 - ・地域の伝統行事から学ぶ
綾渡踊り（全校）、たんころりんづくり（6年）、餅花づくり（1・2年）
 - ・地域の伝統を受け継ぐ
もみじの植樹（5年）
 - ・地域の人材から学ぶ
陶芸、合唱、重伝建、香積寺、平勝寺、足助八幡宮、栽培、防災
- 生活科・総合的な学習の時間と関連づけた学習
 - 1年：こども園との交流、自然学習
 - 2年：足助の町探検、自然学習
 - 3年：足助の人、福祉
 - 4年：足助の防災、地域食
 - 5年：足助の自然環境
 - 6年：足助の歴史

4 成果と課題

<テーマに関わる活動について>

- ・校外学習で、御内町や足助城などのあまり子どもたちが行ったことのない地域の学習をしたことで、「家の人とまた行ってみたい」「足助についてもっと調べてみたい」など、自分たちの住んでいる地域により愛着を感じるようになっていく。
- ・地域の自然や歴史について学習することにより、美しい自然を守ることや伝統を引き継いでいくことの大切さについて考えるようになっていく。
- ・5年生が中心となって香嵐溪のクリーン活動を計画し、全校児童と保護者ボランティアで協力して実施したり、もみじの植樹祭に参加したりすることを通して、香嵐溪の景観を守っていきこうという気持ちを高めることができた。
- ・地域講師や環境学習講師としてこれまでご協力いただいていた方もご高齢となり、調整が難しくなって来ているところもある。しかし、新たな地域の人材や教材開発として、綾渡踊り講師、御内地区の環境学習講師、福祉施設月人との交流学习など行うことができた。
- ・教員は、毎年入れ替わりがあり、担当する学年も変わるため、引継ぎを確実にして本校の特色を生かした活動が継続していくようにしたい。

<体力向上補助指導員について>

- ・体育向上補助指導員を配置し、授業の道具の準備や片付け、ライン引きなどの業務を手伝っていただくことで担当教員の負担が軽減した。また、体力向上補助指導員の助言で基礎的な筋力や運動能力の向上を目的として、授業の最初にコーディネーショントレーニングを導入した。多くの目で児童を見守ることができ、より安全に配慮して授業をすることができた。

<心の相談員について>

- ・心に不安を抱える児童が担任以外にも相談することができる機会が増えた。教員とは違った視点、立場で児童を見守り、担任や相談主任等と情報共有しながら相談活動を進めることで、子どもたちの表情や様子など小さな変化も見逃さずに対応することができた。また、ハートラウンジの対応をしていただいたことで、教室に入れない児童が安心して、登校することができた。

<校内整備員について>

- ・校内整備員を配置し、校務主任と連携しながら樹木の手入れや設備の整備などを中心に校地内の環境整備を進めることで、より安全で快適な環境を保つことができた。特に春から秋は草刈りや樹木の手入れを毎週行うことができ、きれいな環境を整えることができた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを6回更新し、各学年の取組を紹介した。
- ・学校通信で特色ある学校づくり推進事業に関する内容を毎回取り上げ、学年の取組を全学年1回以上紹介した。
- ・授業参観で特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行った。(2月全校)